

高次脳機能障害に関する相談実績（令和5年4月～令和6年3月分）

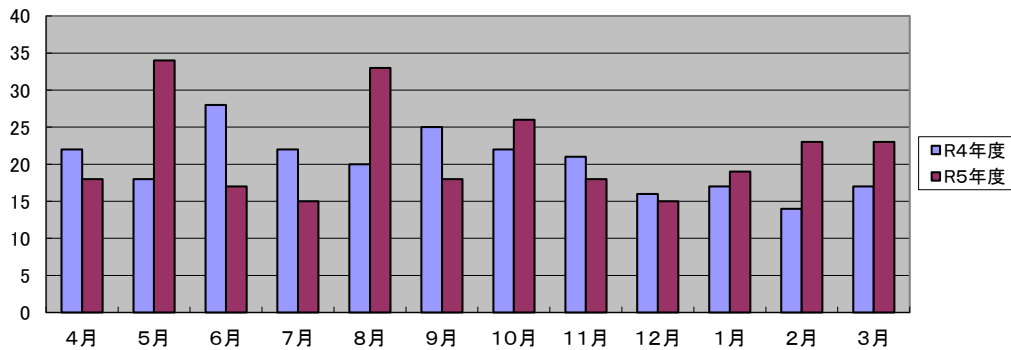
資料4-2-1

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談対応件数		36	51	32	26	43	33	39	35	35	45	40	48	463
内訳	新規	18	34	17	15	33	18	26	18	15	19	23	23	259
	継続	18	17	15	11	10	15	13	17	20	26	17	25	204

R4年度	R4年度比 %
448	103.3
242	107.0
206	99.0

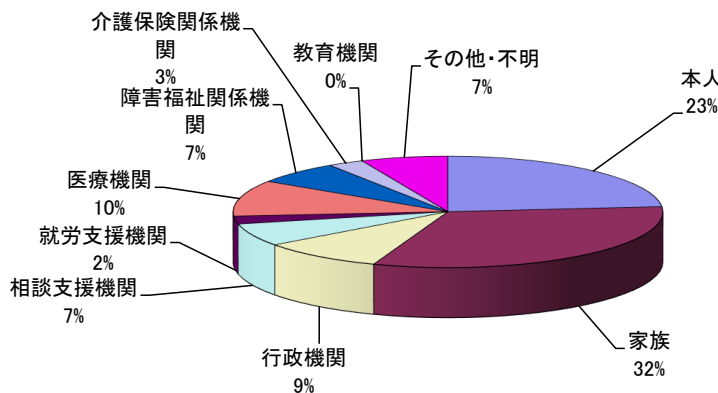
新規相談受付件数

【総数 259 件】



〔新規相談受付件数について〕
前年度比から約7%増加した。
月平均が
R元年 33件
R2年 29件
R3年 24件
R4年 20件
と減少傾向にあったが、R5年度は21.5件と若干増加した。R5年度は5月8月が多く30件を超えている。その年によって多い月は異なる。

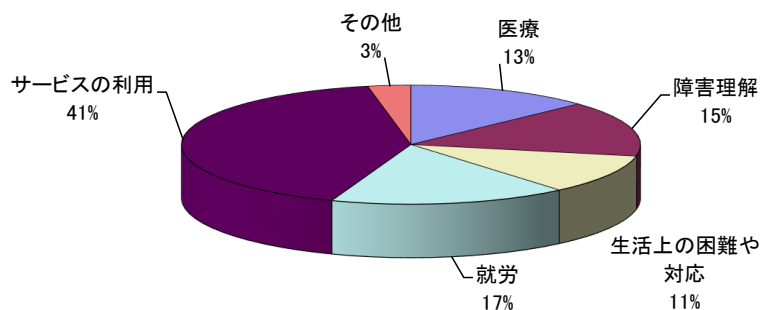
相談者



○ 相談者について
昨年度同時期と比較し家族からの割合が減少し、行政・障害福祉関係機関からの「困難ケースの相談」が増加した。

相談内容の傾向

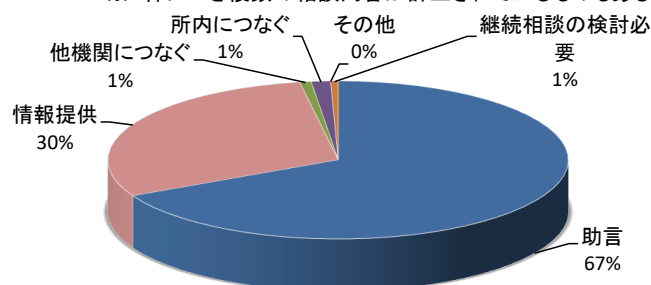
※1件につき複数の相談内容が計上されているものもある。



○ 相談内容について
昨年度に比べて、「医療」、「サービスの利用」が増加し、「就労」が減少している。また、相談内容が複数あるケースが増えている。医療の相談では「自宅に戻るのが難しい方への対応」「本人や家族が外国人の対応」等があった。

対応内容

※1件につき複数の相談内容が計上されているものもある。



○ 処理方法について
情報提供の相談割合が増加している。助言と情報提供を合わせると 97%で昨年とほぼ同じ傾向だった。